

未来のグローバルリーダー 1期生 / グローバル特待生 特集

令和一発目の「ミチテイク」は、新時代にふさわしいグローバル特待生をクローズアップ!!
2018年度から始まった奨学金制度の厳しい選考を突破した1期生の方々による座談会を開催しました!
今号では「こんな自分でも特待生になれるの?」「実際どんな活動をしているの?」といった疑問や、
グローバルに生きることの魅力をお伝えします!さらに大阪府立大学の留学生寮で、留学生を
サポートするレジデントサポーターの生の声をお届け!

1期生は合計9名が
任命されました!



もっと詳しく!
Webマガジン
ミチテイク・プラスで!



MICHITAKE!
未知を知って「満ちていく」あなたの世界

2019.08
10

あなたの知らない世界を
届けたい。
未知を知ること、
あなたは満ちていく。
未だ知らない世界がきっとここに。
You can always take MICHITAKE!

多田あいりさん
(ただあいら)

福田望琴さん
(ふくだみこと)

森岡りなさん
(もりあかりな)

櫻井幸志さん
(さくらいこうじ)

登倉大貴さん
(とくらだいき)

大塚玄人さん
(おつかげんと)



座談会

グローバル特待生のみなさんと座談会を開きました

特待生の活動は?



工学域 物質化学系学類 多田あいりさん

ポスター制作や説明会などの学内や高校生向けの広報活動をメインに行っています。広報以外の活動としては学外の講師によるセミナーを受講する他に、長期休暇の終わりに行われる特待生個人の活動報告会などがあります。



海外に行って感じたことは?



工学域 物質化学系学類 森岡りなさん

一年生の時、留学に行きましたが、全然英語を喋ることができなかったのが、勉強する必要があると感じました。サウジアラビアから来た人は国の援助を受けて留学に来ており、勉強に対する熱意が段違いにすごく、勉強に対する姿勢の違いを感じました。

海外に行って分かった、日本との違いは?



地域保健学域 総合リハビリテーション学類 福田望琴さん

感謝の言葉とかをよく使っていると、海外の人からは謙虚だねとか礼儀正しいねと言われました。また、海外の人は自分の意見を積極的に主張するので、始めは圧倒されましたが、自分の意志を伝えることの大切さをより一層感じました。



奨学金をどのように使いましたか?



工学域 機械系学類 大塚玄人さん

奨学金の使い方は自由ですが、海外留学をするためにこの奨学金を利用する特待生の方が多くいます。参加する海外渡航プログラムの例としては短期留学、ボランティア、インターンシップなどがありました。僕は将来海外の大学院に行くために活用しようと考えています。

そもそもグローバル特待生ってなに??

グローバルリーダー育成奨学金制度とは

将来グローバルな視点と深い専門性を兼ね備えた国際性豊かなリーダーとして、世界に貢献する人材の育成を目指す観点から、**本学学生のロールモデルとしての活躍を期待し、グローバルリーダーとなりうる人材を育成すること**を目標に掲げています。学業、人物ともに優秀な学生に対する奨学支援として、大阪府立大学後援会の支援を受け、**本学独自の奨学金を支給する**制度です。

グローバル特待生になる条件は以下のようになります(2019年度現在)

1. 本学に在籍する学域2年次生であること
2. 1年次の累積成績基準が3.2以上(1年次39単位以上取得)であること
3. 保護者又は本人が本学後援会会員であること
4. 母国語以外の語学が一定レベル以上であること
(例:TOEIC 700以上 TOEFL iBT 76以上など)
5. 自分の魅力を伝えることができる活動経験を有すること(右表を参考)

これまでの活動・経験項目	内容
グローバル経験	・I-wing なかもずのRS(レジデントサポーター)経験又はRS予定者 ・地域で行われる国際交流イベント等への参加 ・学生国際会議・海外渡航プログラム等の研修への参加 ・海外でのボランティア活動
ボランティア活動	国内でのボランティア活動
表彰実績	学内外の顕彰、コンテスト又は大会等での受賞
その他	入学後、新たに取得した資格など

応募期間までに必要書類を提出

書類選考に通ればメールが来る

面接の日程を学生課の方と調整

面接

合否結果

授賞式

特待生に認定されると
30万円の奨学金が
給付されます

レジデントサポーターとしての留学生寮の暮らし

特待生1期生の中でレジデントサポーターの活動をしている櫻井さんと登倉さんの生の声をお届けします！

レジデントサポーター(以下・RS)とは、I-wingなかみずという寮で留学生とともに生活し、留学生の生活を補助する学生のことです。1ユニットに3人の留学生と1人のRSという割り振りになります。RSの主な役割は入居している留学生の日常的な相談相手になること、大学と留学生のつなぎ役になることです。



国際交流会館
"I-wingなかみず"

個室/キッチン



現代システム科学域
マネジメント学類
櫻井幸志さん

RSでの共同生活ってどんな感じ？

4つの個室で1ユニットとなっていて、キッチンやリビングなどの共同スペースは役割分担をしっかりと決めていないと誰も掃除をしないので、壊滅状態になってしまいます。さらに生活リズムも違うので、いろいろと大変ですが、全員が暮らしやすくサポートするのも大きな役目です。(櫻井さん、登倉さん)

楽しいこと、面白いことは？

みんなで食事会をします。留学生の母国の個性的な話などを聞くのが楽しく、I-wingで普段会わない人とも話せるのが良いですね。(櫻井さん)
部屋での会話で、日本と留学生の国の違いを話すことがありました。日本にいては分からない、海外から見た日本のおかしいところが発見できて面白いです。(登倉さん)



工学域
物質化学系学類
登倉大貴さん

グローバル特待生1期生による活動例

自作のポスターを大学内掲示！
また母校に配布するなど
広報面に貢献しました！
(製作者:多田あいりさん)

この奨学金制度をもっと知って
頂くために本大学生に向けての
説明会を12月と4月に開きました！

年2回行われる
異文化コミュニケーションセミナーにて
リーダーシップをとりました！



本奨学金宣伝ポスター



母校へ配布する
本校の留学宣伝ポスター



2期生に向けての説明会



セミナーへの積極的参加

座談会に来られなかった特待生にもお話を聞きました！



現代システム科学域
環境システム学類
張政(ちようせい)さん

台南大学
サマーキャンプ
での様子



ベトナム
インターンシップ
での様子



工学域
機械系学類
森本真尋(もりもとまひろ)さん

色々な言語に触れよう

世間ではグローバルな活躍をするために、英語ができることは成功するためのカギの一つとされ、それをマスターすることが多くの人の目標となっています。しかし、留学生や近所の外国人の方々と触れ合ううちに、それだけでは足りないと感じました。なぜなら英語以外に彼らの母国語をほんの少し話せると、相手の態度が柔らかくなり、より深い関係を築けることがわかったからです。英語が世界の共通言語であるという認識はこの先も変わらないでしょう。しかし、英語を話す人たちの母国語は様々です。彼らと仕事をしてグローバルに活躍するためには、色々な言語に挑戦し学ぶことも、自由な大学生のうちにやっておくべきことの一つかもしれません。

海外で得た経験

昨年度、夏休みの初めに台湾へ行きました。現地では、国立台南大学サマーキャンプに参加し、労働問題や管理科学からDesign thinkingまで集中的に勉強し、サマーキャンプの最後にはSDGs*から一つ問題を選び、グループごとに自分なりのイノベーションモデルをデザインして発表しました。とても忙しかったですが、充実したサマーキャンプを過ごすことができました。その後、2018年度現代システム科学域海外インターンシップにも参加しました。ベトナムのホーチミン市にて現地の学生たちと一緒に環境科学の授業に参加し、文化交流しました。熱帯の自然的、人文的熱意を共に感じることができ、私自身にとって大変貴重な経験でした。

*「SDGs(エスディーゼス)」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。

最近の府大ニュースをお届け！



みちていく bot
@MichiTake_opu



新メンバー募集中! @Recruiter_Michitake

【MICHITAKERS新メンバー募集中!】
この広報誌「みちていく」を作る学生広報サークル「MICHITAKERS」では、学生の編集メンバー「MICHITAKERS」を今年で募集しています。
★府大の良さをもっとたくさんの人に知ってほしい!
★広報誌づくりに興味がある!
★府大にゆかりのあるあんな人やこんな人に話を聞きに行きたい!
と思った方は michitake.opu@gmail.com または、twitterのDMまでご連絡ください。
MICHITAKERS一同、いつでもお待ちしております。



編集後記 @editorial_note

グローバル特待生の皆さんは様々なことに挑戦されており、そしてそこから学びを得ようとする姿勢が素敵だと感じました。特待生になると奨学金を貰えること以外にも、特待生の繋がりを通してかけがえのないものも得ることができるといいます。特待生に選ばれるには成績や語学力などの条件があり簡単ではないですが、後輩の皆さんには是非挑戦していただきたいです。特待生の皆さんのように一つひとつの出会いが自分の世界を広げてくれると思います。この「みちていく」も新たな世界に触れるきっかけになれば幸いです。

MICHITAKERS: 朴孝憲
(工学域 物質化学系学類)

編集「MICHITAKERS」 +好きなこと、趣味



國廣 美桜 Kunihiro Miou
現代システム科学域知識情報システム学類 4年
模様替え



上村 洸瑠 Uemura Takeru
工学域電気電子系学類 4年
お酒、読書



崎山 琴音 Sakiyama Kotone
現代システム科学域知識情報システム学類 3年
デザイン、ゲーム



福田 望琴 Fukuda Mikoto
地域保健学域総合リハビリテーション学類 3年
旅行、読書



森岡 りな Morioka Rina
工学域物質化学系学類 3年
旅行、ダンス



栗須 春乃 Kurisu Haruno
現代システム科学域環境システム学類 3年
一眼レフ、ギター弾き語り



朴孝憲 Park Hyohun
工学域物質化学系学類 2年
映画鑑賞、マリカカート



鈴木 大和 Suzuki Yamato
現代システム科学域マネジメント学類 2年
野球観戦



陳代 修平 Jindai Shuhei
工学域機械系学類 2年
人のいない所巡り、植物いじり



山下 美彩紀 Yamashita Misaki
現代システム科学域知識情報システム学類 1年
音楽、美術館



今井 大智 Imai Taichi
現代システム科学域知識情報システム学類 1年
漫才、西野カナ

Michi Takeとは

「Michi Take(ミチテイク)」は「学生だからこそ見える景色を伝えたい」として大学が持つ大きな価値である「さまざまな知の出会い、さまざまな未知(michi)を知るきっかけを体験生や大学生のみなさんに届けたい」と願う有志現役学生と府大広報課が連携し創刊された、府大の魅力を学生視点でお届けする学生誌です。



あなたの知らない世界を届けたい。
未知を知ることで、
あなたは満ちていく。
未知知らない世界がここに。
You can always take MICHITAKE.

誌面の詳しい情報はWebでも公開中です！

ミチテイクプラス

MICHITAKE PLUS

Michi Take Twitter

大阪府立大学 学生広報誌
「Michi Take(ミチテイク)」第10号 2019年8月発行
編集協力: 株式会社フルハウス・イグゼ
【発行・お問い合わせ先】
大阪府立大学広報課
〒599-8531 大阪府堺市東区学園町1番1号
TEL. 072-254-9103(ダイヤルイン)
Mail. koho@osakafu-u.ac.jp

